

堺市報道提供資料

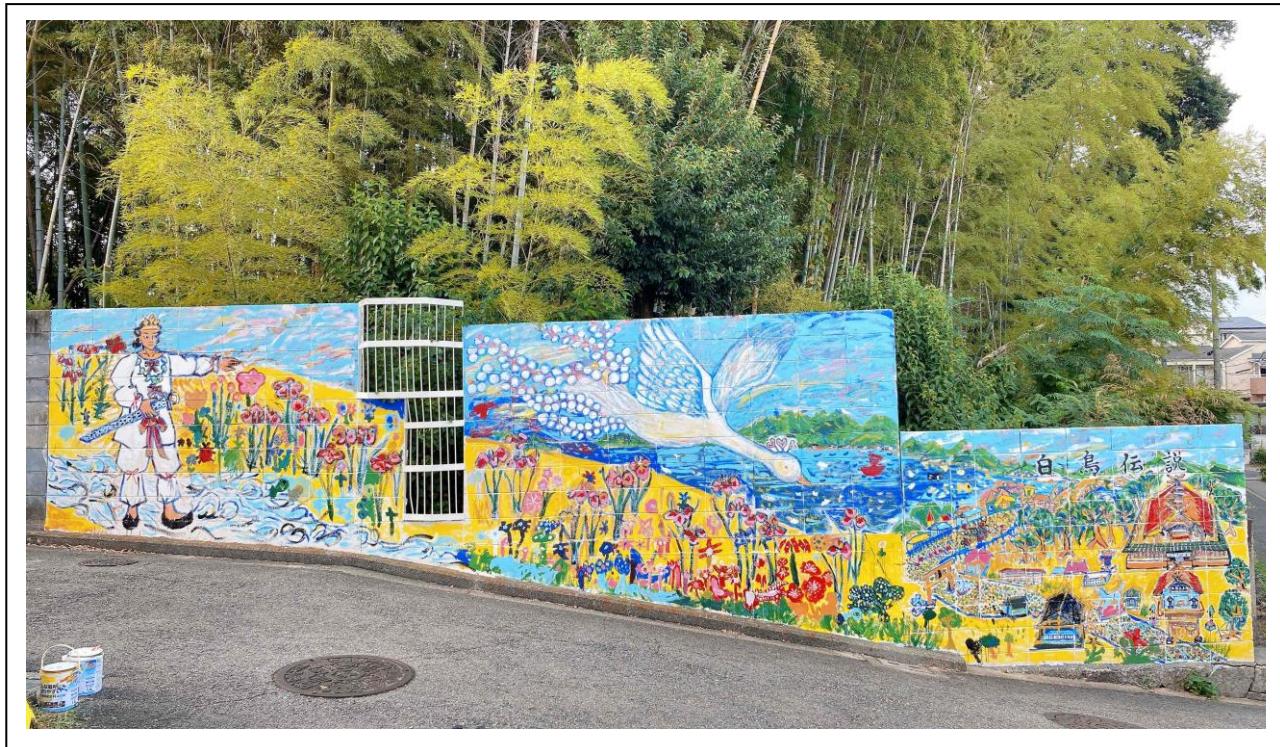
令和4年8月30日提供

大鳥大社の壁画アートが完成しました —みんなでもっと魅力的な大鳥大社へ—

堺市西区では、令和4年7月29日に報道提供しましたとおり、令和4年8月1日（月）から大鳥大社（堺市西区鳳北町1丁1-2）の落書きを地域の皆さんで壁画アートに塗り替える取組を実施していましたが、このたび1か月間を費やし、壁画アートが完成しました。

本取組は西区ブランド発信事業として、区役所が仲介役となりながら、地元出身アーティストのデザインと下絵を元に、大学生やこども劇団員、園児など様々な方が協力してアートを完成させ、地域の財産である大鳥大社を守り、郷土愛を育み、より魅力的にしていくこうとする取組です。また、本取組を通して、未来を担う子どもたちが地域の人たちと関わり、歴史や文化、暮らし、行事などに興味や関心を持ち、地域の課題に向き合っていくことを経験できた貴重な機会となりました。

1 完成した壁画アート



○壁画名『白鳥伝説』

○概要

大鳥大社の起源であるヤマタケルノミコトの逸話を元に、ヤマタケルノミコトが白鳥（しらとり）となってこの地に舞い降り、千種之杜（ちぐさのもり）が生まれ、現在の大鳥大社の社ができるまでをストーリー仕立てで描いています。デザインと下絵は地元出身のアーティスト・久山 茜さんが担当し、大鳥大社の方や大学生、西区から誕生したジュニアミュージカル劇団員が色塗りを行いました。最後に近隣のこども園児が菖蒲の花びらに色を塗り、作品を仕上げました。

○場所

大鳥大社（堺市西区鳳北町 1 丁 1-2） 南東側 外側壁面

2 経緯

令和 4 年 1 月頃、西区にある大鳥大社の外壁が落書きされるという出来事がありました。大鳥大社としては、この上からペンキを塗って消してしまってもいいが、それだけではまた落書きされてしまう可能性もあり、どうすれば良いか悩んでいました。そこで、令和 4 年 3 月頃、区役所に相談があり、これを契機に落書きの上から新たにアートを描くという新しい取組を開始することになりました。

しかし、本取組を実施するためには、デザインし、それを描くことのできる人材が必要とのことでまずは、大阪公立大学のボランティア・市民活動センター『V-station』に相談し、アートを描くことのできる方を紹介してほしい旨を伝え、その後西区政策会議の構成員である地元出身アーティストの久山茜さんにデザインと下絵作業をお願いしたところ、その場で快諾いただけたことで本取組を進めることができるようにしました。

令和 4 年 8 月 1 日（月）、久山さんが描画を開始し、下絵が完成しました。下絵完成後の 8 月 8 日（月）には、久山さんと大阪公立大学の学生が、本格的に色塗りを始めました。8 月 22 日（月）には西区から誕生したジュニアミュージカル劇団 Little★Star も色塗りに参加しました。

そして 8 月 29 日（月）、近隣こども園児も参加して菖蒲の花びらへの色塗りなどを行い、ついに壁画アートが完成しました。



落書きされた壁面



落書きを消した壁面



下絵は久山さんと大鳥大社の方が一緒に



色塗りは、大阪公立大学の学生や劇団 Little★Star の劇団員も協力してくれました



仕上げは近所のこども園の園児と一緒に

3 参加者のコメント

・デザインを考案し、中心となって描いていた久山 茜さんのコメント

「夏の日差しの中、地元の方と一緒に絵を描けて、楽しかったです。だんだんと参加者が増え、道行く方の応援も受けて、回数を重ねるたびに地元の方に愛される場になっていくように感じました。今後もこの事業が広がっていけばいいなと思います。」

・色塗りに参加した大学生 谷 菜乃実さんのコメント

「すごく楽しかったです。こういう体験はなかなかできないと思うので貴重な経験になりました。」

・色塗りに参加した園児のコメント

「壁をきれいにしてくれてありがとう。」「楽しかったです。」「上手に描けました。」

・壁画命名者 大鳥大社 宮司 水無瀬 忠俊さんのコメント

「一つの落書きから始まったこの取組ですが、西区役所様をはじめとする多くの皆様が一つとなって作品を仕上げられたことに、喜びと意義深さを感じます。今後も葬儀のみならず町の人々を繋ぎ、安らぎや笑顔を生む場所としての神社の役割を担っていきたい。」

問い合わせ先	担当課：西区役所 企画総務課 電話：072-275-1901 ファックス：072-275-1915
--------	---------------------------------------------------------